



照明普及会だより

第14号

発行・社団法人照明学会・照明普及会

〒100 東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館5F
平成4年12月

平成4年「あかりの日」全国キャンペーン風景



北海道地区
(札幌・狸小路商店街)



東北地区
(仙台・一番町アーケード)



東京地区
(池袋・サンシャインシティ噴水広場)



北陸地区
(金沢・名鉄丸越前)



東海地区
(名古屋・電気文化会館)



四国地区
(高知・中央公園)



関西地区
(大阪・大阪駅前)



中国地区
(岡山・天満屋岡山店前)



九州地区
(福岡・天神)

東海地区普及活動状況

照明学会東海支部では、10月21日に「あかりの日」記念照明講演会を開催した。講演会は、古くから実施されてきたが、昭和57年度以降は「あかりの日」制定にちなみ記念照明講演会としての開催が定着している。

今回は講師に、照明学会で多大な貢献をされてきた石川太郎氏と平成3年照明普及賞受賞施設を担当した富田泰行氏をお招きして開催した。

概要は、次のとおりである。

日 時 平成4年10月21日(水) 13:30~16:50

場 所 (株)トーエネック本館講堂

講師および演題

石川太郎氏(名古屋工業大学名誉教授・照明学会名誉会員)

『東海の電気今昔余談』

富田泰行氏(株石井幹子デザイン事務所取締役デザイン部長)

『夜間景観に於ける照明のありよう』

参加者 150名

共 催 社団法人愛知電業協会・日本人間工学会東海支部・日本色彩学会東海支部

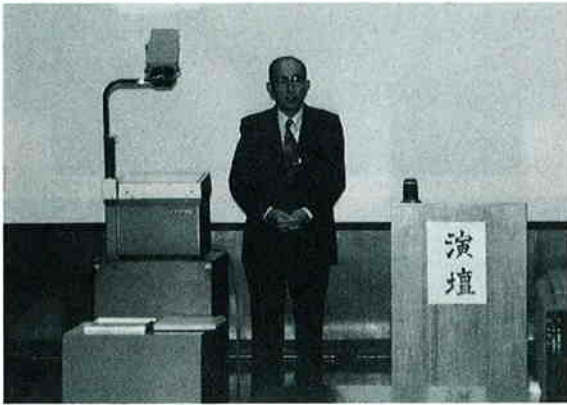
石川太郎氏の講演では、OHPで自作の資料を示しながら、名古屋を中心とした東海地方の電気に纏わる歴史を中心に、多くの題目につい

てエッセイ風にまたコミカルにお話しいただいた。どれも興味深い内容で、参加者も氏の軽妙な語り口についつい身をのりだし時間の制限を惜しく感じるほどであった。

主に題目は次のとおりである。

①717年の尾張 ②尾張、三河とオームの法則 ③尾張名古屋とエレキテル ④松代で1849年に電信実験・佐久間象山 ⑤名古屋の電信事始め ⑥東海各地の電灯初点灯と初公開 ⑦中部の電気事業発祥 ⑧電気地蔵尊・マリア地蔵・桜地蔵尊・雷電神社 ⑨夏目漱石の三四郎と鈴木禎二 ⑩電源開発と福沢桃介など

富田泰行氏からは、照明のあり方に関する考え方やデザイン照明の手法についてビジュアルを用いて講演をいただいた。70点を越える作品を資料として提示していただいたが視覚を通しての説明はたいへん解り易く、特にVTRを使った「岐阜メモリアルセンター」のお話しは、同センターが平成3年照明普及賞優秀照明施設賞を受賞したこともあり参加者の興味をひいたうえ、その夜間照明の美しさは非常に印象的であった。



講演者 石川太郎氏



講演者 富田泰行氏

刊 行 物 紹 介

- すまいの照明マニュアル
住宅照明の入門参考書として作成
B5 オールカラー
価格 2,400円
(維持員特価 1,850円)
発行 平成5年2月

- 照明教室 71号余暇時代のスポーツ照明
発行 平成5年3月 価格1,250円
- あたらしい照明
115号 余暇時代のスポーツ照明
発行 平成5年3月 価格900円
(照明教室 71号とタイアップ発行)

観音崎灯台 (神奈川県横須賀市)

観音崎灯台の誕生

観音崎は、東京湾の出入口にあり、江戸時代には江戸防衛、及び船舶運航上重要な位置を占めていたので、幕府は、ここに台場を設けて大筒(大砲)5門を置いて外敵に備え、また、船見番所も置いて航行する船を監視していました。

観音崎灯台は、慶応2年(1866年)5月徳川幕府がアメリカ、イギリス、フランス、オランダの四か国と結んだ江戸条約で建設を約束した8灯台のひとつです。しかし、当時の日本には西洋式の灯台を建てる技術がなかったため、フランスとイギリスに灯台建築の技術と、レンズや機械の購入を依頼しましたが、間もなく徳川幕府は崩壊したので、明治新政府がこの仕事を引き継ぎ、横須賀製鉄所(のちの造船所)雇フランス人首長フランソワ・レオンス・ヴェルニーに建設を依頼し、明治元年(1868年)9月17日(旧暦)に着工、同年12月29日完成、翌明治2年1月1日わが国最初の洋式灯台として点灯しました。

観音崎灯台の概要

位置：北緯35度15分10秒

東経139度44分55秒

初代の灯台の性能：3重心灯器 1750燭光
光達距離14海里

2代目(大正12年3月15日再建)

同年6月26日光源を電化

750W 電球 90000燭光

3代目(現在のもの、大正14年6月1日完成)

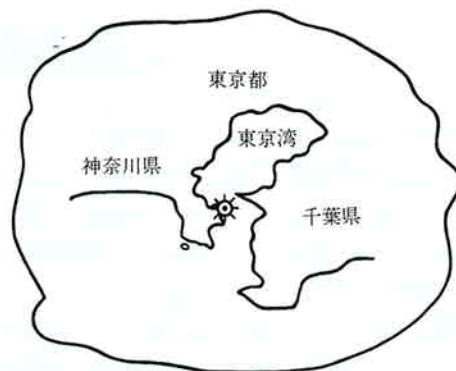
昭和34年6月24日灯台用新規規格電球

140000カンデラ

光達距離 20 海里(約37km)

第四等級 群閃白光(毎15秒に2閃光)

平均水面上から灯火までの高さ56m



照明普及賞の推薦

平成4年の照明普及賞の推薦募集について、平成5年2月1日推薦締切りで募集します。詳細は学会誌11月号会告に掲載してあります。

